

村の世帯・人口

1968年7月1日現在

総世帯数1,909戸

男 4,989人

女 4,975人

計 9,964人

当月の人口移動

出生 29 死亡 5

転入 41 転出 21

婚姻 15 離婚 0



はらに報広

発行所
西原村役所
電話 (035) 2401
印刷所
中部印刷 K K
電話 (077) 4464

主なもくじ

- 一、行政の殿堂新庁舎間近く完成……………1
- 二、九月十五日は「としよりの日」です……………1
- 三、「家庭の日」など設定西原村青少年健育総会……………1
- 四、第一回全琉水道週間によせて……………2
- 五、第二学期をむかえて 西原中学校校長東恩納徳友……………2
- 六、沖縄タイムス作文コンクール入選作から……………3
 1. はしがき……………3
 2. あたりまえのこと 西原中学校三年 比嘉ヨシ子……………3
- 七、村の話題……………4
 1. 総選挙人名簿の従覧……………4
 2. 検針と集金業務を委託……………4
 3. キビ生産農家数まとまる……………4
 4. 区公民館に教養図書の配布……………4
 5. 「外地戦没者の碑」を建立計画……………5
 6. 母校小・中学校へ寄附……………5
 7. 国旗掲揚台を寄贈……………5
 8. 教育功労者を表彰……………5
 9. 村出身者を見舞激励……………5
 10. PTAが奉仕作業……………5
 11. 夏休みに歯科治療……………5
- 八、豆知識 数字でみる沖縄……………6

村の世帯・人口

1968年7月1日現在

総世帯数1,303戸

男 4,389人

女 4,327人

計 8,716人

当月の人口移動

出生 30 死亡 2

転入 41 転出 31

婚姻 12 離婚 0



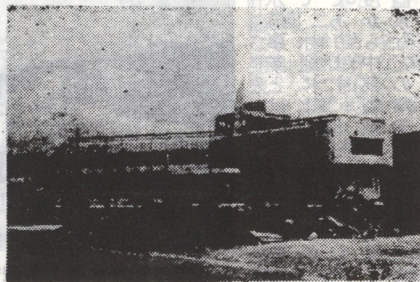
本報にむかへ

- 八、豆取願 焼宇てみる中野 6
- 11 夏木ふに蘭科植物 2
- 10 P.T.A.が奉仕作業 2
- 9 林出豊香を見識意図 2
- 8 澤育広治香を表彰 2
- 7 団地建設台を寄贈 2
- 6 母対小・中分校へ寄附 2
- 5 「代紙輝き音の朝」を壁立描画 2
- 4 区公民館に焼養圖書の頒布 4
- 3 チョ主産農家焼まらまる 4
- 2 剣持と栗金業を委託 4
- 1 総覧華人各職の投資 4
- ナ、村の話題 4
5. あたりまのころ 西風中学校三年 出喜ミン子 3
1. けしやち 3
- 六、中野タトマス村文芸サークル人脈がゆる 3
- 五、第二学期多むかえて 西風中学校夏東恩林樹文 3
- 四、第一回全日本水産新聞コンテスト 3
- 三、「家庭の日」なら強宝西風村青少年教育協会 1
- 二、九月十五日は「うしろの田」にす 1
- 一、行旅の錦堂藤市舎間近く完結 1

主なものと

発行所
西風村青年会
電話(03)5401
印刷所
中野印刷K K
電話(03)4484

行政の殿堂新庁舎間近く完成



間近く完成する新庁舎

本村の永い間の懸案であった新庁舎建設は仲村朝喜建築事務所的设计で建築部門は那覇市平良組(平良茂雄代表)が十一万一千ドル、電気水道部門は那覇市三和電設工業(仲本朝一代表)が一万六千ドルの請負工事である。一月二十日起工式以来大変よい天候に恵まれ間近く完成する。

建築面積七八九、二八平方メートル、建築規模地上三階建(延べ一、三六四、一〇平方メートル)、先づ一階が六八二八〇平方メートルで村長室、応接間、助役収入役、財政課、建設課、総務課、

住民課、選挙管理委員会、政府駐在職員詰所、タイプ印刷室、書庫、金庫室、宿直室、休憩室、湯沸場、ロッカー(男、女)、シャワー(男、女)、固定資産評価室、廊下、客溜お手洗(男、女)、図書室、小会議室など、二階が六六〇、〇六平方メートルで、ステージ、ホール、ホール控室、議員控室、教育委員会、議会事務局議長室、委員会室、会議室、休憩室など中三階は一九、九六平方メートルで傍聴席など近く庁用備品をそろえて九月中完成の予定。

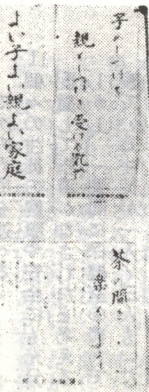
九月十五日はとしよりの日です



わが沖縄においても老人福祉対策の一環として、一九五九年から九月十五日を「としよりの日」と定め、この日から一週間を「としよりの福祉週間」として全琉的に老人福祉をたかめる運動にのりだしたのである。こうして老後のしあわせを住民全体でうち立てようという趣旨によるもので全琉的に大きな反響をよびました。そうして一九六一年これが法定祝日に定められてから今年で七年目を迎えました。この運動により住民の老人福祉に対する理解が一層高まり、最近では部落単位で敬老会を催しているところもある。

※ 次表の条件によって各年金は支給される。

年令	区分	政府から	村から	支給期日
七十才以上	老令福祉年金として年額五十ドルを支給		村敬老年金支給条例によって年額五十ドルを支給	毎年一、四、七月にわけて四回
八十才以上				毎年九月十五日
九十才以上	行政主席から見舞金として年額五十ドルを支給			毎年九月十五日



「家庭の日」を 青少年健全育成 協議会総会



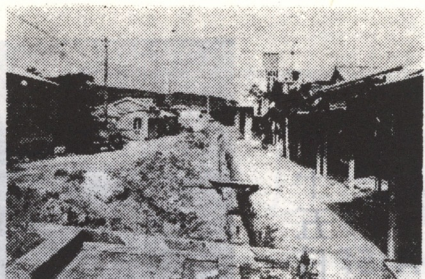
各家庭に配ったポスターとチラシ

西原村青少年健全育成協議会(新川崔吉会長)は、八月一日午後三時三十分から西原小学校で学校当局、PTA、区長、婦人会など各団体長六四名が集り総会を開いた。

はじめに六八年度の経過報告と決算承認、六九年度事業計画及び予算の審議した後、各専門部会で次の事項も討議した。①指導育成部では、水難事故と交通事故から守る、夜間補導の実施計画、各区に防犯街灯設置子供の遊び場設置促進②広報指導部では、各戸にポスターとチラシを配り育成健全化を図る、学対部では、家庭学習、学事奨励会の開催、勉強しやすい環境づくりなど協議した。その他の事項については、全沖縄青少年育成県民会議提

週間によせて

建設課水道事業係



去る三月水道工事配管中兼久通りで

水道事業とは一般村民の需要に応じて、水道により水を供給するしごとであります。本村においても六七年度から中部製糖KKの二工場と西原温泉などの事業所を皮切りに給水していますが、六八年度は小那覇、嘉手苅、新部落、兼久と計画どおり工事がすめられ、去る四月から約

二〇〇件近く給水しています。本村の水道事業の形態は琉球水道公社と西原村との分水協定に基づいて公社からの購入浄水をもつて給水している。いわゆる小売業者的役割を果たしていることとなります。西原村は全体的に水質が悪く、飲料水としては不適当と保健所の水質検査の結果になっています。ですから水道事業経営するにあたって自己水源開発による事業経営はとうてい無理な話である。当面は水道公社からの受水による全村に水道普及を計画するものであります。さて九月一日から七日まで一週間沖縄ではじめて、政府、水道公社、市町村の三者主催によって、水道について一般住民の理解と関心を高め、もつて公衆衛生の向上及び生活環境の改善を図りあわせて水道に対する愛護感謝の思想をたかめるとともに、水道の今後の発展に資することを目的として第一回の週間行事として実施するものであります。週間行事の主なものを列挙すると、

二学期を
むかえて

西原中学校長 東恩納 徳友

二学期は長期休暇明けの時期と一年中で大事な時期（教育の収穫期、充実期）という観点をふまえて全職員協力して、明るい学校づくりに邁進（まいしん）したい。

一、一学期の反省

（次の反省事項は校長による評価で職員による評価は八月四日に予定していたが都合により延期して未施行）

※四領域即ち一日の全生活の場で適切な指導と努力がはらわれて生徒達の明るい態度が助長して大過のない学期だったと反省して次の事項を述べる。

1 個々の生徒の健康や安全にも充分配慮して指導がなされたと考えられるが、一週間に保健室の裏台で寝ている生徒が一人〜三人もいたということは、ますます保健指導の強化と家庭連絡の緊密を徹底させた。

2 自主的、主体的行動の喜びや、楽しさを実際に経験させる配慮や工夫に力がそそがれたと考える。即ち、生徒の意見をきいてやるという教師の態度や、生徒の内面（考え方）を知ろうとする教師の努力を高く評価したい。

3 問題生徒の早期発見のための教師の苦心とその指導に全職員が努力を持ったことと、関係職員の継続指導と継続観察の教育愛を高く評価し、先生方のますますの健斗を祈るしだい。

4 無断欠席、無断早退、無遅刻を目標にし、また期待したが、遂に果し得ず、第二学期に実現したい。

5 服装の端正、あいさつの励行は、高く評価し、学生らしい清純な気品と活力（元氣）をますます高めたい。

6 清掃活動及び美化については、係の先生方、学級担任の適切な指導

によって、ほぼうまくいっていると考え、次の点を強化していき

い。

(イ) 清掃、美化の学級差、学年差をなくする。

(ロ) 師弟同行の強化。

二、二学期に解決していきたい努力点

1 旺盛な発表意欲と積極的な態度、即ち問題意識を育てていきたい。

※問題意識を育てていくための一考察

(イ) 考え方、見方、感じ方を教材を通じて正しく伸ばしていく

こと、即ち、生活指導と教材指導の一元化の問題が大きなことである。

(ロ) 「教師の問題を発見する目」が大事なことを考える。教師のこのような目(感覚)は実践記録を書いたり、お互いの実践や問題を交流することによって由かれるものと考え

2 仲間づくりの強化

※この問題は、集団生活、社会生活の向上発展のきずになるので、その研究と実践には、力のかりをつくしたい。

その内容の一考察

(イ) 男女間の問題(弱者いじめ)

(ロ) 上級生の下級生に対する指導の問題と礼法の問題

(ハ) チーム・ワークの問題(素直さの問題自己から他への問題)

(ニ) 仲間づくりの基盤は「理解と親切の合理性」を考える。

3 言葉の問題(共通語励行の問題)

(イ) 言葉の問題で大事な点A内容の問題B自由に思うことを発表する

(ロ) 強化していく問題点

A 現場指導

B 内容充実を図る(国語教育の強化)

C ふんい気づくり(はずかしい、反抗心等の問題の解決)

D 学校生活と家庭生活生活の矛盾(むじゆん)をよく理解させること。E よく庄しなないように育てていく。

4 体育運動の益々の振興今日のよう

に体育運動を奨励して、基礎事項を徹底的にくり返し返し練習していくことを強化して、明るい学園とねばり強い根性をつくり上げていきたいと考える。

三、その他

本校の条件整備の根本問題である敷地拡張の問題の解決は、教育委員会、議会、村当局村民の協力を得て、二学期で実現すべく最善を尽くしていきたい。

沖繩タイムス作文コンクール入選作から

はしがき

沖繩における青少年健全育成の問題はここ数年前から琉球政府と沖繩青少年育成県民会議で大きく取りあげてきた問題であり、また本村の青少年健全育成協議会でも去る八月一日の総会で指導育成部、広報指導部学対部の三部門から提唱された事項や各家庭に配られたチラシやポスターの中には「子のしつけを親もしつけを受ける気度」と「よい子よい親よい家庭」など、毎月第一日曜日は「家庭の日」と琉球政府と沖繩青少年育成県民会議の主唱したものを設定した。ここで六八年度沖繩タイムス主催の作文コンクールに入選した西原中学校三年比嘉ヨシ子(字棚原)さんの「あたりまえのこと」と題しての作文であります。大人の方も、父兄の方も一度はぜひ読んでいただきたいものです。日常の社会生活において「あたりまえのこと」は大変むつかしいことと思います。その原文を紹介しましょう。

「あたりまえ」のこと

西原中学校三年 比嘉ヨシ子
私達の学校には、守るべき規則、例えば「共通語を使う」、「服装を整える」というように、いろいろな規則が決められていることは、ごくあたりまえのこと、いつでも正しくできるように思えるが、こういつた規則を守れない生徒が多数いる。それに宿題なども、提出期限に遅れたり、提出をしなかったりというの

も大体の生徒に経験のある事だろう私もそれで、六年の時の先生に「あたりまえの事ぐらいいできないのか」としかられた事が何度もある。また社会において随落した人達の生活を考えてみよう。

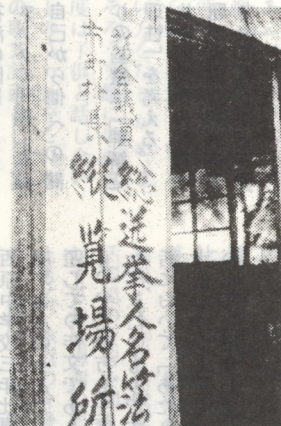
暴力団や非行少年は、身体もたくましくて、働き盛りの青年たちばかりなのに、彼等は人並に働いたり、勉強したりというあたりまえの生活ができないのである。ところで、あたりまえの事とはどういう事か。それは「人間として当然行なうべき事」である。では、あたりまえの事ができないとどうなるか。それは前にもあげたように、学校や社会の規則が守れないで他の人と肩を並べた生活ができない。もっとこわいののは、約束の守れない人間になってしまうことである。そうすると、人からの信用が失われ、人間としての価値がなくなるだろう。それは最も恥ずべき事ではないだろうか。あたりまえの事ができない人は、充実した、生きがいのある人生をおくろうとするねばりがないのだと私は思う。また毎日の生活にたつみがあって、それであたりまえの事ができない人間になってしまうのかもしれない。だから一日一日を生きがいのある有意義な生活をするためにも、やるべき事は、はつきりとけじめをつけてやりとげなければならぬと思う。あたりまえの事ができないと、社会にいても他人から見下げられるだろうし学校であつても、いつも人より遅れた行動をしなければならぬはめになるだろう。やる事なす事おもしろくなくなってくるに違いない。私が六年生の時先生が「人間は、あたりまえの事が、十分できさえすればそれでいい。無理して人並以上のことをやろうとしなくても、それだけであれば、どこへ出てもはずかしい事はない。人間としてそれで合格だ」とおっしゃった。私はそれまで何でも十分にやっていたつもりであったが、反省してみると、あたりまえの事をやってないのが、数知れぬほどあった。その時、自分の身のまわりには、自分で気づかないたくさんの欠点、まちかった行動がある事を初めて知らされた。しかしあたりまえ

の事ができたのなら、それでいいやそうではない。いつでも努力に努力を重ねて、前進し、他の人より一歩先になろうという心構えが、あたりまえの事ができる人のとるべき態度だと思う。それは、いくらでも

進歩する事であり、進歩させなければならぬ事でもある。「あたりまえの事ができる人間」これは、人間だれもが、理解しなければならぬ簡単なようで、実際は理解しにくいむずかしい問題ではないだろうか。
(現在筆者は首里高等学校一年在学中)

総選挙人名簿の縦覧

= 村の話題 =



名簿縦覧

西原村選挙管理委員会(翁長正員委員長)は、市町村議会議員および市町村長総選挙人名簿を七月十五日現在で調製し、去る七月三十一日から八月十四日まで十五日間、各有権者の縦覧に供した。

こんどの名簿縦覧は三つも選挙があり、例年より有権者の方も関心があつて異議申立など六五件もあり、こんどの有権者登録総数は四、七八三名となつてゐるが、部落別有権者数はつぎのようになつてゐる。

総選挙人名簿調製

一九六八年七月十五日現在

字別	男	女	計	字別	男	女	計
幸地二〇〇	二一六	四二六	嘉手苅	三九	四一	八〇	
棚原一七二	一七五	三四七	小那覇	二五七	二八七	五四四	
徳佐田五〇	四八	九八	崎原	三九	四一	八〇	
森川五三	四八	一〇一	仲伊保	一〇二	一〇九	二一一	
千原二六	一七	四三	伊保の浜	八六	八四	一七〇	
上原八七	九二	一七九	兼久	一六七	二〇六	三七三	
翁長一三五	一五一	二八六	与那城	六四	六四	一二八	
奥屋四四	四〇	八四	我謝	二四八	二六六	五一四	
津花波六一	五九	一二〇	安室	五〇	五五	一〇五	
小橋川五八	八五	一四三	桃原	四一	四二	八三	
内間八八	九五	一八三	池田	七二	七六	一四八	
掛保久三四	四二	七六	小波津	一二六	一四五	二七一	
合計	二、二九九二	四、八四四	七、八三三				

水道

検針と集金

業務を委託

西原村建設課水道事業係は、六七年に村内事業所の中部製糖の二工場と西原温泉などを皮切りに給水開始し、ことし小那覇、兼久地域に去る四月から給水開始に伴い、水道事業の拡大で検針と集金業務を西原村字兼久一〇一番地翁長フミ子さんと関係地域二〇〇世帯を委託契約し、本人に村長からの身分証明を交付し、これからの水道業務の充実を図る計画。

生産

キビ生産農家

数まとまる

西原村経済課では、このほどキビ生産農家の基本調査となる農家数をまとめた。六七、六八年期の実績からみて一、三二四戸のキビ作農家のうち二二一戸が専業農家で一七、二〇九アール、あと一、一〇三戸が兼業農家で四四、九七一アールで、兼業農家のうち第一種兼業が三三九戸で、第二種兼業が七六四戸となつて、今期のキビ搬入は一戸平均四八、一三五キロで約五台平均、これからの農家経営は第二種兼業が年々増える傾向にあるとみている。

図書

区公民館に教養

図書の配布

西原区教育委員会では、六八年度公民館活動事業の一環として、このほど十二地域の公民館に一九五ドル分の教養図書を無償配布、図書配布は地域の世帯人口に按分して割当てたが現在公民館設置の部落は、幸地

、棚原、森川、上原、翁長、津花波内間、嘉手苅、仲伊保、安室、桃原小波津の十二部落で、村内の公民館活動の普及法はまだ五〇パーセント程度だと。

慰 霊

「外地戦没者の碑」を建立計画

外地引揚者協会西原村支部（中山正徳支部長）は、このほど南洋群島引揚者を中心に募金運動を行ない、「外地戦没者の碑」を建立することを協議した。この碑は石材で設計し第二次世界大戦で南洋群島、その他外地で亡くなった村出身者のみ霊を永遠に冥福を祈るため折念し計画したもので、とし秋に村慰霊祭に「西原の塔」にこんど南洋墓参団西原村代表城間重光さんが持ち帰った霊石も合祀し、その建立計画をすすめている。

寄 附

母校小中学校へ寄附

西原村安室出身で現在岐阜県各務原蘇緑町4の25にお住いの徳村繁雄（旧姓与那城茂雄）さんは、このほど母校西原小学校と西原中学校におのおの参拾ドルづつ「母校の子弟教育のため役立てて下さい」と西原小学校と那嶺義孝校長と西原中学校東恩納徳友校長に寄附、徳村さんは昭和のはじめ頃、本土へ渡り日本政府郵政省勤務でこのほど停年退職、そのまえにも村育英会に百ドル寄附された方で、村教育行政に貢献した方で村民一般から感謝されている。

寄 贈

国旗掲揚台を寄贈

西原小学校（与那嶺義孝校長）は

とし中部地区教育委員会から体育研究指定校として実績をあげた記念と、永年世話になった母校として校庭に国旗掲揚台二百ドル相当の一基を寄贈、これで西原小学校に戦後はじめて国旗掲揚台ができた。与那嶺校長は村出身者として、昭和の初め頃から教育畑に四十年近く勤続、戦後村内出身の校長昇格者で四人目で六八年度で村から永年教育篤志功勞者の一人として表彰もうけた。

表 彰

教育功勞者を表彰

西原村（新川崔吉村長）は、七月十二日午後二時から村会議室で教育永続功勞者三名と教育篤志功勞者二名にたいし表彰状と記念品を贈った。一、教育永続功勞者与那城操子（現津嗣小学校教諭）大城春子（現中城小学校教諭）宮城豊子（現嘉数小学校教諭）二、教育篤志功勞者与那嶺義孝（現西原小学校長）徳村繁雄（岐阜県在安室出身）

見 舞

村出身療養者を

見舞激励

西原村（新川崔吉村長）は、去る八月三日住民課長外係職員を伴い、現在金武保養院に療養中の八名と那覇病院療養中の三名を見舞激励した。その他村内では九〇名ほど在宅患者がいるが年々減っていく傾向にある村では毎年保健所の協力を得て各部落毎の集団検診の結果、早期発見することができて、療養者や在宅患者など割合早く社会復帰できると喜んでいる。

治 療

夏休みに歯科治療を

西原小学校（与那嶺義孝校長）はこんど春の定期健康診断を一、〇二九名を診察した結果、十名程度が健康児で、あとはほとんどが治療を必要とする……一学期中は学校にきてから歯痛のため休む子どもが多いため、この長期にわたる夏休みを利用して治療するよう歯科医が治療証明できるよう各保護者に用紙を配り、虫歯の予防と治療対策をたてて二学期から虫歯のない強い体力をつくるよう各父兄に呼びかけた。

奉 仕

PTAが奉仕作業

西原小学校PTA会（金城哲男会長）は、こんど長期にわたる児童生徒の夏休みを利用して、西原小学校内の環境整備のため、PTA会員八五〇名の協力で去る七月二十八日から八月四日まで区域別日程を午前と午後に分けて、特に校内各教室への通路の整備（コンクリート）作業と校庭周囲の美化作業などを実施、これは六月十一日PTA総会で決議になったもので第二学期にそなえて児童生徒のよい環境づくりをしようとして実現したものだ。

豆 知 識 数 字 で み る 沖 縄

政府広報課資料

面 積	全琉総面積2388.22万平方	貿 易	輸出 77,457,957 (単位:ドル67会計年度) 輸入 388,716,721
人 口	全琉 96万 67. 10. 1 男 46万 女 50万) 統計庁推計	砂 糖	産 糖 高 205,351 (トン) 輸出金額 394.69 (千ドル) (67会計年度)
出 生	年 間 19,642人 1日に 53.8人 (66.1~12月)	パ ー ク	生産量 68,489 (トン) 輸出額15,356 (千ドル) (67.4月~12月)
死 亡	年 間 5,274人 1日に 14.4人 (66~1~12月)	電 話	40,287台 (97.12月現在)
平均寿命	男 68.02才 女 74.65才 (60年簡易生命表より)	自 動 車	民間登録台数 71,335台 68.1.31現在
公 務 員	合 計 14,733人 国家公務 5,968人 府県業務 8,765人	観 光 客	港 46,101人 空 66,016人
本土就職者	57~67 累計 16,984人 男 6,891人 (就職者は26都府県にまた 女 10,093人 がる)	学 校	(小) 229 (中) 154 (高) 34 (私4) 66.5.1現在
所 得	国民所得 473.2百万ドル 1人当国民所得497ドル (67会計年度)	学 生	(小) 148,941人 (66.5.1現在高校 (中) 81,446人 は私立定時制も (高) 45,698人 含む)
ラ ジ オ	ROK 67年12月調査 親子、普通各ラジオ287.512	教 員	(小) 4,379人 (66.5.1現在高校は私 (中) 3,036人 立も含む) (高) 1,950人
テ レ ビ	本 島 152,030台 (67.8 RBC) 先 島 7,750台 (68.1MOHK)	慰 霊 塔	70基 (68.2月現在沖縄と40道府県)
電 気	普及率 96.01% 97.6.30現在	公営住宅	既 設 56棟1,206戸 工事中 18棟 416戸 (68.2.22現在)
水 道	普及率 7204% 67.6.30現在	気 象	平均気温 22.1℃ 年間降雨量 1,779.5ミリ (67年)